まちの話題

Tarumizu TEA TIME

第68回県下一周駅伝

２月13日～２月17日に、第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、沿道での応援自粛が呼びかけられていましたが、それでも選手たちは懸命に走り抜け、地元肝属チームは総合６位となりました。

株式会社小浜水産グループ 県漁業振興大会ほう賞受章

▲左から 小濱秀則代表取締役会長、小濱洋志代表取締役副社長

株式会社小浜水産グループ小濱秀則会長が、第47回鹿児島県漁業振興大会において技術改善部門のほう賞を受章され、２月10日に市長室を訪れました。これは、養殖漁業等において優れた漁業技術の導入や改善をし、その技術が広く望ましい形で定着したことを表彰するものです。カンパチ・ブリ・ヒラマサの養殖において、少ない給餌量で効率的な増体を実現する「オバマスタイル」を確立させ、経営の安定化を実現し、また他業者への波及により、県内養殖業の発展に尽くされた功績が評されました。

広がる シトラスリボン

２月20日～28日に、道の駅たるみずはまびらにて、シトラスリボンの配布とリボン作り体験が行われました。これは、垂水市文化協会が主催し、生涯学習のエコクラフト手芸講座の活動の一環として実施したものです。同講座の講師・西尾さんは、「リボンを受け取っていただいた方やリボンづくり体験をされた方々にとても喜んでもらえました。皆さんに関心を持ってもらい、プロジェクトが広がり、より良いまちになってくれたら思います」。と話しました。

垂水キッズST少年団 日本ソフトテニス連盟より表彰

▲左から 井之上監督、俣江キャプテン、鎌田副キャプテン

垂水キッズＳＴ少年団が、日本ソフトテニス連盟より支部優良団体として表彰を受け、２月24日に市長室を訪れました。これは、ソフトテニスの普及発展に尽力し功労顕著であるものが表彰されるもので、８年連続で全国大会に出場し、継続して優秀な成績をおさめている点が評価されたとのことです。表彰を受け、井之上監督は、「何よりも子ども達と保護者の皆さんに感謝しています」と話し、最後の大会を控えた、俣江キャプテンは「みんなで笑って最後の大会を終えたいです」と話しました。

八千代伝酒造株式会社 総裁賞代表　受賞

▲左から 八木大次郎杜氏、八木健太郎代表取締役

農業法人八千代伝酒造株式会社が、令和２酒造年度鹿児島県本格焼酎鑑評会で、最高賞に当たる「総裁賞代表」を受賞され、２月22日に市長室を訪れました。八木健太郎代表取締役は「土づくりから芋の栽培、収穫、醸造、瓶詰まで一貫して当社で行う【農醸一体】の取組と、杜氏の技術が高く評価され、大変光栄に感じています。今後も現在の取組を継続しながら、新しい取組にもチャレンジしていきたいです」と話しました。このたびの受賞、誠におめでとうございます。

鹿児島県トラック協会 交通安全の定規寄贈

２月25日、公益社団法人鹿児島県トラック協会の方々が教育長室を訪れ、交通安全教材の贈呈式が行われました。これは、全国の道路を使い事業を展開する同会により、交通安全啓発の一環として、県下小学校の新入学児童を対象に昭和６１年頃から３０年以上にわたって行われているものです。贈呈式では、坂元教育長へ交通標識などが描かれた定規約９０本が寄贈されました。４月から新学期が始まります。通勤・通学時には十分気をつけましょう。